

「授業実践力評価スタンダード（鳴門スタンダード）」（第一次案）

1. 評価項目

授業実践力	評価項目			
A 授業構想力	1. 学習者の把握	1) 学習者の実態把握	1	
		2) 学習への構え・ルールづくり	2	
	2. 目標の分類と設定		3	
	3. 授業構成	1) 教育内容の構成	4	
		2) 教材（題材）の選択・構成	5	
		3) 授業過程の組織	6	
		4) 学習法・学習形態の選択・組織	7	
	4. 単元計画 （授業計画）	1) 単元（授業）計画の作成	8	
		2) 学習指導案の作成	9	
		3) 学習評価計画の作成	10	
B 授業展開力	1. 基礎的・基本的な授業態度（音声・表情・所作等）		11	
	2. 教授活動の構成 と展開	1) 個や集団への配慮	12	
		2) 説明	13	
		3) 助言・指示	14	
		4) 板書	15	
		5) 教材・教具の活用	16	
		6) 演技・表現性	17	
	3. 学習活動の喚起 と促進	1) 授業の流れや分節化への考慮	18	
		2) 発問	19	
		3) 子どもの発言・行為への対応	20	
		4) 学習環境の構成とマネジメント	21	
		5) 学習活動への即時的対応	22	
	4. 学習活動に対する 評価	1) 形成的評価	23	
		2) 机間巡視	24	
		3) 学習評価法の工夫	25	
	C 授業評価力	自己の教育・社会観，教育目標，授業構成論，指導法に対する省察・評価と授業改善		26

2. 段階内容

第1段階	第2段階	第3段階
学部3年コア科目「初等中等教科教育実践」終了時（教育実習開始時まで）に到達していることを求める実践力の段階	学部卒業時（初任者研修開始時まで）に到達していることを求める実践力の段階	学部卒業以降，10年経験者研修時までにその形成を期待する実践力の段階